

平成 28 年度 高岡市下水道事業報告書

1 概 況

(1) 総括事項

平成28年度は、高岡市総合計画第2次基本計画に掲げる事業施策を推進するとともに公営企業としての独自性を高め、一層の効率的事業運営と経営の健全性に努めるなかで、市民サービスの向上と危機管理体制の強化に取り組みました。

下水道施設整備においては、生活環境の改善、公共用水域の水質保全、浸水の防除を目的に公共下水道及び特定環境保全公共下水道の整備を進め未普及地域の解消を図るなか、高岡市緊急浸水対策行動計画に基づく住吉ポンプ場増設工事を実施したほか、雨水幹線整備など浸水対策にも鋭意取り組みました。また、基幹施設整備として四屋浄化センター散気装置改築工事に着手するとともに、住吉ポンプ場管理棟耐震補強工事を実施しました。

<普及状況>

本年度末における処理区域面積は 4,354.14haで前年度に比べ 33.57ha増加し、処理区域内人口は 162,395人で前年度に比べ 438人減少し、普及率は93.6%となりました。

<財政状況>

本年度の収益的収支については、事業収益 5,730,390,635円、事業費用 5,405,211,083円で収支差引 325,179,552円の当年度純利益を計上しました。

資本的収支においては、資本的収入額 3,794,785,679円（前年度財源充当額62,200,000円を除く）、資本的支出額 5,925,109,257円で不足する額 2,130,323,578円は、過年度分損益勘定留保資金 178,457,485円、当年度分損益勘定留保資金 1,746,965,879円、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額 86,800,214円で補てんしました。なお、不足する額については、当年度同意済企業債の未発行分 118,100,000円をもって翌年度に措置します。